

サウス 17th(サウス)

学校だより（臨時号）
加古川市立野口南小学校
校長 長谷川 敬志

令和6年度『全国学力・学習状況調査』の傾向と対策

1. 各教科の結果と分析

- 国語 会話文を題材とした文章を読み、会話に適した話し方・工夫・説明の方法などを選択して答える問題では、的確に捉えることができ、正答率が高い。また、目的に合わせて、文中内の用語を引用し文書にまとめることができている。一方、漢字や主語述語の関係など、言語の知識・理解や長文の物語に関する読解に苦手意識が見られる。
- 算数 基本的な計算能力、グラフや表などから数量を正確に読み取り、数量間の関係を数学的に捉える力は身につけている。そのため、本校の算数の平均正答率は、加古川市・兵庫県・全国に比べ高くなっている。一方、記述による解答を求める図形の性質や道のりと速さの関係、表を活用した問題では、全国的な傾向と同様に課題が見られる。

2. 児童質問紙に見られる本校6年生の特徴

- (1) 8割をこえる児童が「自分には良いところがある」と答え、94%が「先生は良いところを認めてくれる」と答えるなど、自己肯定感が高く、多くの児童が将来の夢や目標を持っている。また約95%が「友達との関係に満足」しており、「困りごとや不安を先生や学校の大人に相談できる」と答えた児童が全国平均を上回り、9割の児童が「学校に行くのが楽しい」と感じている。
- (2) 100%の児童が「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と答え、9割をこえる児童が「人が困っている時は進んで助ける」「人の役に立つ人間になりたい」と答えている。
- (3) 基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん）は概ね良好である。
- (4) 大半の児童が「算数は大切」「国語は大切」と答え、学習の必要性を理解している。しかし、「算数が好き」という児童は約6割、「国語が好き」にいたっては、約4割となり、特に国語に苦手意識をもっている児童が多い。